

温かい食事の提供

- 被災者により早く温かい食事を提供
- 栄養バランスや摂取量を確保した食事を提供

市有施設の活用

- 公民館
- 学校
(給食室・家庭科室)
- 給食センター

等



避難所



関係団体などの協力

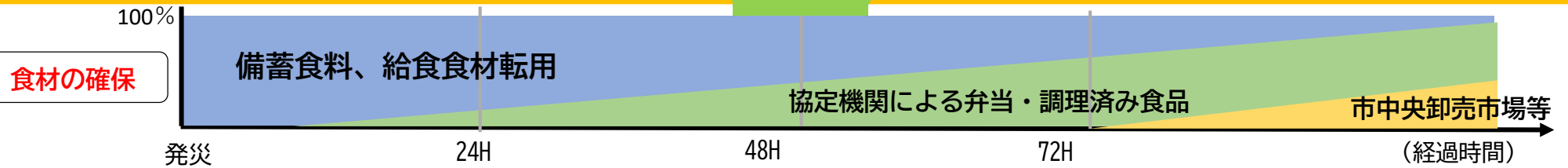
自衛隊炊事車・
NPO・ボランティア等



キッチンカー



食材の提供



温かい食事提供スキーム

発災

0～24時間

24～48時間

48時間～

震度6弱以上で
約340か所の
指定避難所を開設

- ・公民館、会館
- ・小学校
- ・市立体育館
- ・市民センター
- ・地域交流センター

まずは温かい食事

市の備蓄食を使用

味付きご飯 等

ケチャップライス
カレーピラフ
和風味



より美味しい食事

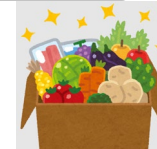
食材関係者から提供



調理済み加工食品等

より栄養バランスが取れた食事

食材関係者から提供



野菜・生鮮食品等

調理関係者

個人事業系キッチンカー
企業系キッチンカー
NPO団体
飲食店の料理人 等

食材提供を
必要とするグループ

どちらにも対応できるグループ

自前で食材を
調達できるグループ

自衛隊

大規模な避難所に
優先配置

湯せん

湯せん・加熱

逐次
支援避難所の拡大

本格的な調理

各避難所

ヘルスマイト(食生活改善推進員)

各避難所等において活動
⇒ 調理補佐、栄養指導、献立メニュー検討 等

※時間経過とともに、市災害対策本部内に関係者による合同調整機能を設置

【内容】支援先の調整、調整に基づく要請、献立メニュー 等